



学校法人
四條畷学園理事長
小谷 明

「喜ばれる喜び」を大切に！ ～100周年記念事業ing～

創立者・牧田宗太郎先生からの 時を超えたメッセージ

—今年度の抱負をお聞かせください。

小谷 昨年は令和8年の学園創立100周年の記念事業として、総合ホール図書館(愛称:「いもりね manabi館」)のリニューアルや小学校リニューアル(第一期)を実施しました。本年以降、総合ホール食堂リニューアルや小学校リニューアル(第二期)、そして、駅前整備事業関連で学園キャンパスのエントランス・中庭整備を進めていきます。

また、このようなハード面だけではなくソフト面でも、創立者・牧田宗太郎先生(以下創立者という)の思いを教職員全員でメッセージとしてしっかり受け止め、共有していきたいと思えます。その一環として、昨年8月、創立者の思いやイメージを示す言葉であるタグライン「学ぶ喜びをずっと。(joy of learning for life)」を発表しました。今年度は100周年を機に学園の原点に立ち返り、タグラインを通じて、創立者からのメッセージの意味を確認し、共有して具体的に浸透させていきたいと思えます。

—創立者からのメッセージとは具体的にどういうことですか。

小谷 学園は建学の精神「報恩感謝」のとおり、「教育してくれた母への感謝」に対するお返しのお返しで創立されました。この「感謝」にはもう一つ、教育者としての「教悦に対する感謝」の意味があると考えています。「教悦」について、創立者は自伝で「宗教に教悦という言葉がある。私は今教悦の上に乗って、静かに自己の幸福を感謝している。」(「自傳教悦」と述べているからです。今日でいえば、教職員が教育に携わることで、生徒からの「喜ばれる喜び」を日々間近に享受できることへの「感謝」の意味になります。すなわち、これから学ぼうとする若者や現場で奮闘している教職員など、今を生きる私たちへ、「二つの感謝を力(モチベーション)に変えて頑張りなさい」と、温かい励ましのメッセージが時を超えて送り続けられていると受け止めていきたいと思えます。

タグラインを通じて 子どもたちとの約束を果たす

—タグラインにはどのようなメッセージが込められていますか。

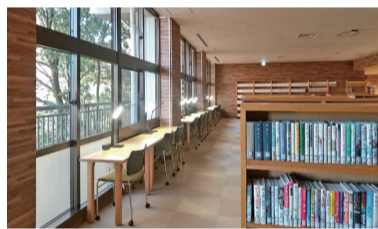
小谷 今回のタグライン「学ぶ喜びをずっと。(joy of learning for life)」の中で、「学ぶ喜び」は建学の精神に、「ずっと。」は教育理念「実践躬行」(現代版PDCA)に対比させ、創立者の思いを創立100周年後に向けて継承する意味を持たせました。そして、このタグラインには子どもたちが在籍中に「学ぶ喜び」と出会い、社会に巣立ってから自走しながら意欲的に生涯学び続けられる、学園がこうした人をつくる場であり続けるという約束のメッセージの意味も込めています。

—記念事業にはそのメッセージが反映されているのですか。

小谷 例えば、記念事業のひとつとしてリニューアルした図書館「いもりね manabi館」は、子どもたちへの約束



11月1日にリニューアルした図書館「いもりね manabi館」。中央の“くつろぎスペース”では、ゆったりと時間を過ごすことができる。



図書館は「学ぶ喜び」に出会うきっかけとしての利用が期待される。



を果たすための「学ぶ喜び」と出会う場になることを願っています。具体的には、教職員が創立者の「教悦」すなわち「喜ばれる喜び」を体験することを目的とした「おすすめ本アンケート」を学園内で現在実施しています。100周年に因み、「100冊のおすすめ本」を選定しようとするものです。在籍中に「大切な人や本(言葉)」など「学ぶ喜び」との出会いのきっかけづくりを教職員がサポートし、「喜ばれる喜び」を感じながら子どもたちとの約束を果たしていきたいと思えます。そして、できればこのような動きを学園外にも広げていきたいと思っています。

—学園外に広げていくとはどういう意味ですか。

小谷 学園のホームページで、さらに広く「おすすめ本」の募集を始めました。同窓生や保護者の皆さんの「おすすめ本」は学園教育への愛着や理解とともに、様々な人生経験に裏打ちされたものであり、在籍者や現役の教職員にとって大変貴重なメッセージが込められていると思えます。本以外でも具体的な生きた「エピソード」や「物語」の宝庫である映像や漫画など何でも結構ですので、皆さんの「イチオシ」をぜひご紹介ください。学園というご縁でつながっている皆さんからいただくメッセージすべてが、子どもたちの学びの対象になります。「学ぶ喜び」を通じて皆さんにもきっと「喜ばれる喜び」をお返しでき

ると思えますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。
※詳しくは、下記二次元コードをご参照ください。

創立者の思いにつながる 「喜ばれる喜び」を糧に

—最後に生徒の皆さんへメッセージをお願いします。

小谷 創立者は学園創立の7年前の1919年に英国に教育視察に行きました。その英国には、「ミルクを配達する人の方が飲む人より幸福になる。人を幸福にする人が一番幸福になる。喜ばれる喜びを知る。」という格言があるそうです。創立者の思いにもつながる「喜ばれる喜び」を糧として、「毎日毎日、ワクワク」するような日々を送っていただきたいと思えます。

Tag Line

在籍中に「学ぶ喜び」と出会い、社会に巣立ってから自走しながら意欲的に生涯学び続けられる。学園がこうした人をつくる場であり続けることを端的に表現しています。

Logo

学園の樹でもある「クスノキの葉」を用いながら、人間力を大事に育む学園らしさを表現するために、「人」を中心に据えてシンボル化。生き生きと躍動する人を描いています。

学ぶ喜びをずっと。

100TH
SHIJONAWATE
GAKUEN Since1926

100周年記念
特設サイト公開中



「おすすめ本」のアンケート
ページへのアクセスはこちら

